

家族の笑顔

東広島市立中央中学校 三年 田坂 亜瑚

「みんなでおいしくね。」

これは、久しぶりに祖母の家へ行き、一緒に食事をした際、祖母が言った言葉です。その時の祖母の言葉とうれしそうなお顔がとてモ印象に残っています。

私の祖母は、三年前に祖父が亡くなったから、お一人暮らしをしています。一人で住むにはなすびる一軒家に住んでいます。私

と祖母の家は、車で二十五分くらいの所にあります。母は、祖父が亡くなったから、祖母がさみしがるといけないからと、よく祖母の家を訪ねていました。私も時間がある時には、祖母に会いに行っていました。ある時母が、「はあ、あちゃん、痩せたんじゃない？ちゃんとしてご飯、食べとる？」

と祖母に聞いていました。すると祖母は、「食べとるけど、あまり欲しくないんよ。歳のせいかな？それに一人分の食事を支度す

るのはめんどくさくて。
と答えていました。私達家族は、よく祖母に
会いに行っていました。私が、そういうえば、自分
達の都合で、一緒に食事をするくらいゆっ
りは居てあげられなかつたと思いました。そ
して、祖母に対して、さみしい思いをさせて
申し訳なかつたという気持ちになりました。
このことをきつかけに、なるべく時間を作り、
一緒に食事をしようとして心に決めたのです。私
も習い事がある日には家で一人食事をします
が、一人黙々と食べて、美味しいとは感じま
せん。たまたま、体のために栄養を摂っているだ
けのようには思います。祖母もきつと同じ思い
をしていたのではないのでしょうか。それも毎
日、毎食。
私達はあれ以来以前よりも祖母の家をみん
なで訪れ、一緒に食事をしています。祖母は、
いつも手作りの料理を食卓いっぱいに並べて
くれます。そして決まつてこう言います。
「何もないけど、遠慮せず、たくさん食べん

さいよ。
一人でたくさんの品数の料理を準備して、私達を迎えてくれるのです。私がつこんなにはたくさん作ってくれてありがとう。でも大変だ。たごしほう？
と聞くと
「自分一人のために作るのはめんどくさいけど、喜んで食べてくれる人のためなら、苦にはならんよ。」
と言ってくれました。私はその言葉を聞いて、自分の作った料理を食べてくれる人がいるのは、その人にとって原動力になるんだと思いましたが。また、祖母の気持ちがとてもうれしくて、食後には、祖母に感謝の気持ちを伝えるために、いつも必ず「ごちそうさま」と心を込めて言うようにしています。
私は、祖母も言うように、「なぜみんなで食るとおいしいのかを改めて考えてみました。まずは、一人で黙って食べるよりも、大勢で食ると会話が弾み、楽しくて、いつ

も以上に食が進むと思います。実際には、祖母の家で食事をするとついつい食べ過ぎてしまいます。次に、同じ料理でも、作られた人の気持ちで美味しさは変わると思うからです。先にも述べたように、自分一人のために食事を準備するのはめんどくさいが、喜んでくれる人のために作るのは昔にならぬという言葉からも、作る人にもごちそうになる人にも、お互い思う気持ちがあれば料理をより美味しく感じられるのだと思います。だから

ら食事に対する思いもちが、てくるのです。私はこの体験から、家族で食卓を囲み、会話を楽しみなからゆ、くり食事をやることの大切さを知りました。これからもできる限りこのように機会を設け、家族と食事ができることに感謝の気持ちを持ち続けていきたいと思っています。